

夢のあるまちづくりに すよつと 一言



いとう まゆみ
伊藤 真由美さん
(石鳥谷町好地・団体職員)

子どもと一緒に地域と
かわるようになり、い
ろいろな活動や行事を通
して仲間づくりができる
ようになりました。若い
ころは恥ずかしさや煩わ
しさで、どちらかとい
うと避けていたと思いま
す。水害や震災があつた
とき、頼りになるのは身
近な方々でした。日ごろ
からのコミュニケーション
の大切さを思い知りま
した。

大切なのは人とのつながり

毎年行われる運動会や
お祭りなどは、小さな子
どもからお年寄りまで参
加するので、世代を超え
て交流ができる良い機会
で、いつも楽しみにして
います。地域とのつながり
をもっと大事にし、成長し
ていく子どもたちにも受け
継いでいければうれしい
と思います。また、それを
支援できるまちづくりで
あつてほしいと思います。

議会を傍聴しませんか

【6月定例会】
本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 43 人
【9月定例会（予定）】
9月6日(木)から開かれる予定です。
詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただ
くか市議会のホームページをご覧ください。
議会事務局 ☎24-2111(内線334)

- 市議会議長 松田 昇
- 副委員長 藤井 幸介
- 委員 細川 宏幸
- 委員 照井 雄一
- 委員 伊藤 源康
- 委員 小原 雅道
- 委員 小原 茂明
- 委員 阿部 一男

今回も、はなまき市議
会だよりをご覧いただき
ありがとうございます。
▼早いもので、現在の編
集委員会で作成した市議
会だよりも本号で8号目
となり、任期の折り返し
地点を迎えました。▼私
たちの編集テーマは市民
に「手に取っていただく
市議会だより」づくりで
あります。▼表紙写真の
撮影や各ページの編集・
校正作業、一般質問の関
連写真撮影など、各委員
が分担して手づくりで作
成しております。▼今後
も、手に取っていただけ
る、読みやすい紙面をつ
くろうと議論を重ねなが
ら頑張つてまいります。
(松田 昇)

編集後記



たか はし のぶ
高橋 忍さん
(小舟渡・会社役員)

心こゆつりを

1年前に東日本大震災
が発生、ギリシヤを発端
とするユーロ危機、足の
引つ張り合いによる政治
の機能不全。私たちの将
来はどうなるか、だれも
分からない状態です。
そんな中、花巻市にお
いても明るい話題は少な
く、若者たちの元気が失
われているように感じま
す。まちづくりの最大の
原動力は若者の行動と元
気です。
働く場所があり、しつ
かりした家庭を築け、安
心して子育てができる、
そんなゆとりがあつて若
者がまちづくりに参加で
きます。その結果、活気あ
るまちがつくられていく
のだと思います。まずは
雇用の創出を。
心のゆとりと自覚を持
ち、真剣にまちづくりを
考えられる市民でありた
いものです。

表紙写真から

「次代に残したい市内の風景」をテーマに募集していま
した表紙写真は、川村克美さんの「地域の財産」に決定し
ました。皆さまのご応募ありがとうございました。



かわむら かつみ
川村 克美さん
(東和町安俵)

棚田は、先人が山などを切り開いて
作った知恵と苦勞のたまものです。稲
作以外にも、水田の保水機能の観点か
ら地域の治水の役割も担っています。
時代の流れの中で、ほ場の大規模化
が進み、開拓当時の原風景とは異なっ
てはいるものの、その役割と先人の思
いを伝えていくべきものと思います。

はなまき市議会だよりは2月・5月・8月・11月の1日が発行日です（土日・祝祭日の場合はその前日）



古紙を配合した再生紙
を使用しています